

様式第2号 (第3条関係)

## 会 議 録

会議名称	平成29年 伊達市行政改革推進委員会 (第1回)		
議 題	伊達市行政改革大綱2017の策定について		
開催日時	平成29年 6月9日 (金) 午後6時30分～午後7時50分		
場 所	市役所本庁舎 2階会議室A		
出席者	委 員：7名 事務局：副市長、総務部長、総務課長、総務係長、総務係員		
	所管部課名	総務部総務課	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p><b>【会議の概要】</b></p> <p>1 開会 会議成立の報告及び副市長挨拶 (委員長選出後、市長より委員長へ諮問)</p> <p>2 議事 (1) 伊達市行政改革大綱2011 (平成23年度～27年度) の実績報告について 事務局から報告。昭和60年から実施、今大綱は平成24年に策定。基本4方針、45項目について実施してきた。以下、資料に基づき説明。</p> <p><u>委員長</u> 実施率70%台、伊達市は全道、全国から注目される事業を進めてきている。</p> <p><u>委員A</u> 公用車として「水素自動車」の導入を考えてはどうか。</p> <p><u>事務局</u> 環境負荷の低減など環境面からもH29年度 (今年度) に導入する予定です。導入後は、広く皆さんに見ていただきたい。</p> <p><u>委員B</u> 公営住宅の指定管理が経費面から取りやめになっているが、検討はしたのか。</p> <p><u>事務局</u> 都会とは違い安くならなかった。大きな施設や数もなく高価なものになり効果がでず断念した。</p> <p><u>委員長</u> 待機児童はどのような状況ですか。</p> <p><u>事務局</u> 十数名から二十名程度と聞いている。 勤務地から保育所が遠いとかという理由で待機している親も居る。</p>			

#### 委員C

市内に子どもの遊び場が無い。小さな公園はあるが、市外に行かなくても楽しめる水遊びが出来るような場所がほしい。検討できないか。

#### 事務局

役所の前、館山公園などで噴水を動かしていたが、修理費が膨大な金額になり修理できない。ただ、今も館山公園は子どもたちの人気が高く利用されていることから整備したい。

#### 委員C

カルチャーセンターの堀は利用できないのか。

#### 事務局

苔がひどいので使用できない。カルチャーの敷地内を小川が流れているが、そこで遊んでいる子どもたちを見かける。食育センターも出来ることもあり、整備したい。

#### 委員D

コミュニティーセンターの予約システムが機能していない。整備すべきではないか。

#### 事務局

これは広域連携の中で進めているものです。室蘭や登別とも結び2013年出来る予定だったが、使えていないケーブルを繋ぐこともうまくいっていない。

今は、業者のシステムの開発待ちの状況であり、利用後はコミセン側の管理（更新）が重要。協定は進めている。

#### 委員長

スマホの利用も考えていく必要がある。

#### 委員E

住民ニーズと行政サービスは相反するものである。投資的経費、経常収支率85%の財政の数値。自主財源の確保が難しいなか簡単にはいかない。

今後、公共施設の維持管理、長寿命化計画を適切に進めてほしい。

特別勤務手当の見直しについて。実績が無いもの、保育や税の手当も見直すべきではないか。

#### 事務局

国は、税務職員になると給料表は一般とは異なり高くなる。これが伊達市には無いので手当を付けている。意見として受けておきます。

#### 委員F

P3の健全な財政運営だが、洞爺湖、登別の観光地と隣接し、「外貨」を稼ぐという視点はなかったのか。洞爺、登別を食うことも考える。

人材育成だが人事評価制度をうまく利用すべきでは？

#### 事務局

今後、外貨獲得の視点は取り入れていきたい。平成11年当時とはとにかく無駄を省く点ばかりに集中していた。

人材育成については、視点を変え民間との異業種交流などお互いに補完する形で進めたい。

#### 委員長

色んな企業や農業、漁業があって経済活動が活発に行われて税収がある。物産館は年間5億を稼ぎいい見本だし影響も大きい。今ある10を11にする取り組みを進めるべきだ。2011を糧に色々なアイデアを盛り込み5年間で伊達市が良くなったと感ずることが出来る大綱を作りたい。

#### (2) 大綱2017の策定について

##### 事務局より説明

今回は、合理化という面ではなく、「まちづくり」を中心に新たな取り組みとしている。以下資料に基づき説明

#### 委員長

今回は、太いところで定めており、実施計画はこれからである。

#### 委員F

選択と集中で、民間の発想を取り入れ、失敗してもいいからやってみる。広報活動やコミュニケーションをとって一部の失敗を分かり易く開示することも大切ではないか。

#### 事務局

今までとバランスを大きく変えてきている。今後、少子高齢化が進む中では健康づくりのために必要なものは何か、今後は選択と集中という視点で踏み込んでいきたい。

#### 委員F

市民、連携などのキーワードを入れて分かり易くした方がいい。

#### 委員E

行政サービスの適正化、やれば限がない。市民の意見も必要だが、財政の状況も見る必要がある。実施計画の中身で勝負だろうと思っている。

#### 事務局

その都度、計画を適正に見直すことが大切だ。今までの考え方を換え地域の特性を入れて見直しをする。最初の計画をつくり、その後実情に応じて見直し変化する。

#### 委員D

平成28年11月にまちづくりワークショップでいろんな人とこの町の話をするのがとても面白かった。知らないことが沢山あるし、この様な機会をつくるのが市民意見の反映に生きてくる。

広報誌だけではなくインターネットの活用も必要。地場産業、移住された人（リタイアした人）が楽しみながら働く場があれば面白い。

「プロボノ」（社会人が自らの専門知識や技能を生かして参加する社会貢献するボランティア活動全般）というのがあり、「プロフェッショナル」を持っている人が一週間このまちで過ごす。面白いと思います。

#### 事務局

市民意見を反映させるためにも市民会議など意見を聞く場を増やしたい。PRも大切。情報公開、ネットだけではなく活字も大いに使う、高齢者はネットは使わない。

地場産業に対しても、リタイアした人の技術の掘り起こしをすると面白いのではないか。

#### 委員C

街中に個人商店が無くなっていく危機感を強く持っている。今は何が出来るのか案は無いが、これからの商店を考えていきたい。

#### 事務局

以前は、よく市に要求だけを言ってきたが、商店街の活性化の知恵を出してそれに対する支援をという形に変化してきている。活性化のための応援には支援していく。

#### 委員F

帯広にあるような屋台村のようなものは金庫としても考えたい。商店街の人たちの知恵を活かす機会を設けたい。

#### 委員長

個性のある店、北海道は雪があるから屋内になる。物産館という良い事例があるのでお手本に。

商工会議所の事務所の移転についても、まちの活性化も交えて議論すべきだ。

#### 委員B

実施計画を策定した後の検証をきちんとやるべきだ。市総合計画と合わせてやるなど、将来を見据えた長いスパンで考えてやってほしい。

#### 事務局

総合計画との時期が2年ずれているが、総合計画とリンクさせることも必要で、2年後には見直しの場を設けたい。

#### 委員A

食育センターができるので、まちづくり活動に活かしてほしい。また、室蘭に焼き鳥やカレーラーメンがあるが伊達には何も無い。外に向けたものを作ってほしい。

空き家対策としては、例えばリタイアした人に活用してもらおうとか、このことを前面に出して考えていく必要がある。

#### 事務局

これからは高齢化が進むことにより、より深刻化することは間違いない。実施計画の中で考えていきたい。

#### 委員A

伊達の冬野菜をより発展させてほしい。

#### 事務局

冬野菜をテーマにPRを大々的に行っている。メディアにも取り上げられているし積極的な取り組みを行いたい。

食育センターもできるので、新メニューについても開発していきたい。

#### 事務局

寒暖の差により栄養価が高まっている。

#### 委員長

将来、伊達に住んでもらえる大きなメカニズムを構築できるような仕組みを作る議論が大切。

チャリティーで人材資金をつくる。市も市民も国からも出して資金を作る。

伊達はアパートが高いといわれるが、資産価値があつていいことだが、一方では高いから伊達には来ないという話もある。

CCRC、高齢者の誘致、伊達が先発でやってはどうか。

色々な会議、集会の場で環境とかまちづくりなどの話しが出るが、その場で話すだけではなく参画でき活かせる場があるといい。

#### 総務部長

行革についてイメージを変えて取り組みたい。市がデータを示して行うのではなく、市民の知恵を借りて進めたい。

#### ◆今後の日程

今回出た意見等を大綱に盛り込み、次回は、6月15日（木）18：30から現在検討している大綱の承認後、実施計画をつくる。

実施計画のパブコメ終了後に実施計画についての会議を予定し、全体で4回程度の会議の開催を予定している。